

■計画策定までの流れ

地域の強み

■地域の強みを出し合いました。

- ・事故・犯罪が少ない
- ・子どもたちはあいさつがよくできている
- ・災害が少ない
- ・伝統行事がある
- ・自然豊かで緑が多い
- ・高齢者が元気である
- ・羽黒山・梵天の湯・ゆずなど地域のブランド力がある

課題の抽出

■地域で気になること(課題)について話し合いました。

- ・地域事業の参加者が固定されている
- ・地域に活気がない
- ・福祉協力員活動が不明確
- ・高齢化が進んでいる
- ・近所付き合いの減少
- ・商店が少なく買い物が不便
- ・空き家の増加
- ・高齢者ドライバーの増加
- ・自動車や自転車マナーが悪く通行が危険

目指す地域の姿

■目指す地区の姿の意見を出し合い、計画のタイトルを決めました。

みんなで支え合う上河内地区にしよう！

実現のために取り組むこと

■4つの基本目標に課題を分類し、その解決と、目指す地区の姿を実現するための具体的な実行計画を導き出しました。また、地域の誰が中心に、いつまでに取り組んでいくかも決めました。

計画の完成

自然と人が寄り添う、心あたたまる上河内

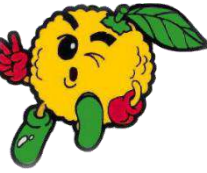


発行年月日：令和8年4月

編集：上河内地区社会福祉協議会

連絡先：宇都宮市社会福祉協議会 ☎028-636-1215

上河内地区 福祉のまちづくり計画



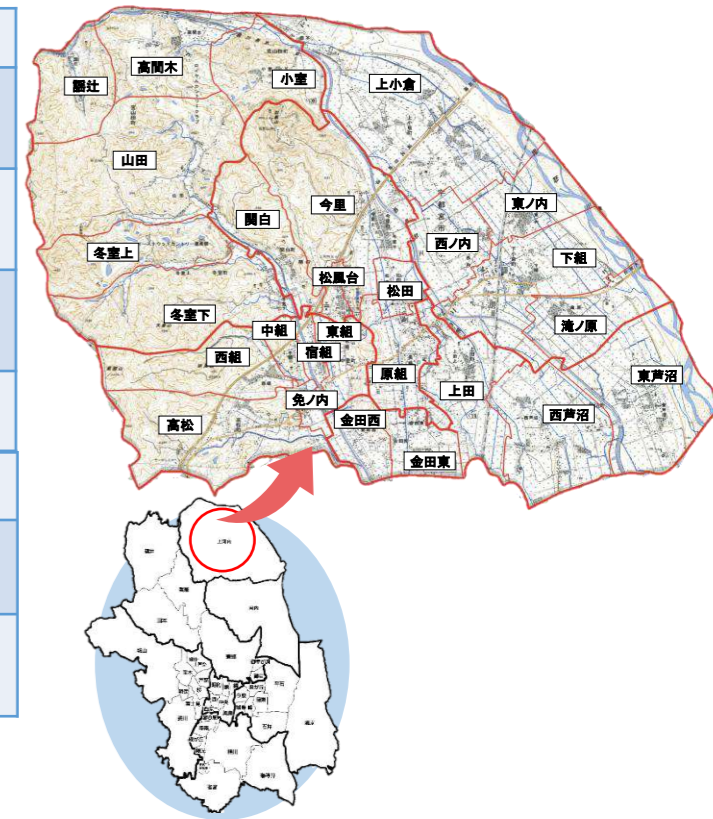
《令和8～9年度(2年間)》

福祉のまちづくり計画って？

地区の福祉課題を把握し、その解決のために今後どのような活動に取り組んでいくのか、また、将来の姿を見据えて「福祉のまちづくり」をどのようにすれば実現できるのかを、地区のみなさんで話し合い、中期的(3～5年程度)にまとめた計画です。

■上河内地区の現状

	①上河内地区	②宇都宮市
人口	年少人口 (11.53%)	60,734人 (11.84%)
	生産年齢人口 (56.70%)	316,366人 (61.66%)
	※1 高齢者人口 (高齢化率) (31.77%)	135,986人 (26.50%)
	合計	9,386人
自治会数	27	782
自治会加入世帯数 ※2	2,560世帯	126,908世帯
全世帯数 ※3	3,624世帯	241,460世帯



※1 (出典)宇都宮市資料 (住民基本台帳「令和7年3月末現在」)
 ※2 (出典)宇都宮市自治会連合会世帯数調査 (推計世帯「令和7年4月末現在」)
 ※3 (出典)宇都宮市資料 (推計世帯「令和7年5月1日現在」)

■上河内地区の特徴

【歴史】

上河内地区は昭和30年に羽黒村と絹島村が合併し上河内村に、平成6年には町制施行により上河内町に、平成19年3月に上河内町と河内町が宇都宮市に合併になりました。

【地理】

宇都宮市の北部に位置し、西は羽黒山、矢倉山などの山地、東は平坦な丘陵地となっています。

【観光・産業】

平成14年にオープンした梵天の湯は、県内外から多くの人々が訪れています。シンボルとなっている羽黒山に950年余の歴史を持つ羽黒山神社が祀られ、秋の例大祭では五穀豊穡を願う梵天祭が行われ毎年7万人の人出で賑わいます。地域の東部を流れる鬼怒川が肥沃な大地を育ててきたことから、県内屈指の味と品質を誇る米が生産されています。

【交通】

平成22年12月に東北自動車道上河内サービスエリアスマートICが完成し、市街地からのアクセスも良く、国道293号や田原街道などの主要道路、また、ユッピー号やデマンドタクシーの運行により市内中心部や氏家方面へのアクセスもしやすくなっています。



みんなで支え合う上河内地区にしよう！

地区の皆さんから出された地区の課題を整理して、目指す地区の姿を考え、それを実現するために必要な取り組みと、地区の強みを生かした、具体的な実行計画を立てました。

基本目標	抽出された課題	目標	具体的な取組(内容)	活動主体	令和8年度	令和9年度	令和10年度
1. 福祉のこころをはぐくむ人づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域事業の参加者が固定 ・地域に活気がない ・福祉協力員活動が不明確 	地域の人材を発掘し、皆が役割を持ちイキイキ暮らせるまちを目指します	<ul style="list-style-type: none"> ①老人クラブの加入促進 ②福祉ボランティアの発掘と活用 ③組織目標の明確化による活動の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ①まち協・育成会・老人クラブ・民児協・地区社協 ②老人クラブ・自治会・包括支援センター ③包括支援センター・地区社協・福祉協力員 	実施		第6次宇都宮市地域福祉活動計画と併せてリニューアルし、策定・推進し
2. 共に支え合う地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進んでいる ・近所付き合いの減少 	みんなが顔見知りになり、助け合える地域を目指します	①高齢者やひとり暮らしの方の見守り活動の充実	①自治会・民生委員・福祉協力員	実施		
3. 安心して暮らせる福祉の基盤づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・商店が少なく買い物が不便 ・空き家の増加 	人がつながれる場づくりから安心して暮らせるまちを目指します	<ul style="list-style-type: none"> ①共に支え合い助け合う活動の推進 ②空き家などを活用したサロン拡充 ③地区内の子どもからお年寄りまでの交流機会の創出 	<ul style="list-style-type: none"> ①自治会・民生委員・福祉協力員・包括支援センター・第2層協議体 ②地区社協・自治会 ③地区社協・民児協・育成会・老人クラブ・包括支援センター 	実施		
4. 安全な地域づくり(地区独自目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者ドライバーの増加 ・自動車や自転車マナーが悪く通行が危険 	地域住民が安心して暮らせるまちを目指します	<ul style="list-style-type: none"> ①自転車のマナー向上のための取り組みをすすめる ②デマンド交通(愛のリュッピー号等)の活用促進 	<ul style="list-style-type: none"> ①まち協・交通安全推進協議会・地区社協・小中学校地域協議会 ②まち協・交通安全推進協議会・地区社協・小中学校地域協議会・老人クラブ・地域内交通運営協議会 	実施		



ふれあい・いきいきサロン



地元の中学生との交流



福祉協力員



愛のリュッピー号